

# AJ

AQUA JOURNAL  
Nature Aquarium  
information magazine  
Mar. 2023 100YEN

vol.  
**329**

Special Feature

## 時を 楽しむ 水景

SUIKEI  
to enjoy  
time

〔巻頭グラビア〕  
**NATURE IN THE GLASS**  
想いのスイレン

DOOA STYLE #22  
TSYSTEM TERRA 30]

IAPLC CREATOR'S FILE #02  
「Yi Ye / Republic of China」

ADA PLANTS GALLERY #15  
「ハイグロフィラ・ボリスヘルマ」

システムでタノシム #08  
LOVE ADA GOODS #08



## [ 憇いのスイレン ]

流木をシンプルに組み、葉を横に広げるスイレンやクリプトコリネ、無造作に伸びるクリナムなどが自由に生長できるエリアとなるべく広く設けた。背景のテープ状水草は、葉形の異なる複数種を混ぜて植栽し、単調さの回避と自然感表現とした。また有茎草を用いないことで見頃を長期的に維持しやすくなる一方で有茎草が持つ華やかさがないため、ホワイトフィンロージイなどの魚の選択でポップな印象を加えた。そして制作から1年を超えるようになると、予想を超えた水草の生長と生命力、安らぎを感じられる水景となつた。



植物	ハイグロフィラ・ピンナティフィダUK ニムファsp.イキトス ニムファ・ミクランサ クリプトコリネ・ウエンティ・'トロビカ' (BIO)* クリプトコリネ・ウエンティ・'ブラウン' (BIO)* クリプトコリネ・アクセルロディ (BIO)* クリプトコリネ・バランサエ クリナム・アクアティカ ナローリーフ エキノドルス・アングスチオリウス エキノドルス・テネルス (BIO)* パリスネリア・スピラリス	<i>Hygrophila pinnatifida 'Uttarakannada'</i> <i>Nymphaea sp. 'Iquitos'</i> <i>Nymphaea micrantha</i> <i>Cryptocoryne wendtii 'Tropica'</i> <i>Cryptocoryne wendtii 'Brown'</i> <i>Cryptocoryne axelrodi</i> <i>Cryptocoryne crispatula var. balansae</i> <i>Crinum calamistratum</i> <i>Helanthium boliviianum 'Angustifolius'</i> <i>Helanthium tenellum</i> <i>Vallisneria spiralis</i>
魚種	パールグラミー ホワイトフィンロージイ レッドフィンブルーベリーインパクティステトラ サイアミーズフライングフォックス オトシンクルス ヤマトヌマエビ	<i>Vallisneria nana</i> <i>Glossostigma elatinoides</i> <i>Taxiphyllum barbieri</i> <i>Trichogaster leerii</i> <i>Hypseobrycon rosaceus var.</i> <i>Hypseobrycon coelestinus</i> <i>Crossochelus oblongus</i> <i>Otocinclus sp.</i> <i>Caridina multidentata</i>

※はADA生体製品ラインナップです。

## DATA

撮影日	2021年6月10日(ADA)
制作	荒木 大智(レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーデン W150×60×H60(cm)
照明	ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
ろ過	スーパージェットフィルターES-2400(バイオリオ)
素材	プランチウッド、山水石
底床	アクアソイルアマゾニア Ver.2、パワーサンド、アドバンスL、パクター100 クリアスパー、トルマリンBC

CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> パレングラス・ピートル500、CO <sub>2</sub> ピートルカウンターで 1秒に5滴(タワー使用)
AIR	リリィパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤	ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、グリーンブライティ・アイアン グリーンブライティ・ニトロ
換水	1週間に1度 1/3 水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

©AQUA DESIGN AMANO

## 長期維持に適した構図と 水草で制作した水景

### [植栽]

#### 色調演出で軽快な表現

活着性水草の中でも色の濃いシダ類ではなくピンナティフィダを選択することで、中景や背景と同系色になることを避けるようにした。特にクリプトコリネがもつ褐色の色合いとの対比で、景観が落ち着きすぎた様相を避ける狙いがあった。活着の立ち上がりも早く、量やバランスを調整しやすいため見頃を保ちやすい水草と言える。

ウイローモスと一緒にモスコットンで巻き、糸が溶ける1ヶ月ほどで活着し始めた。



### 構図



### [素材]

#### 必要最小限の山水石で メンテナンス性を向上

水景を長期維持していく上で、複雑な配石はメンテナンスの妨げになる場合がある。シンプルさを意識した配石ではあるが、クリプトコリネやスイレンが繁茂してきて石の存在感が残るよう、手前にはやや大きめの山水石を配石し景観にアクセントを加えた。



水草同士の境界を物理的につくり出すことで植栽範囲のコントロールとメリハリのついた景観に仕上がった。

安定感がある構図骨格が土台にあることで継続的な維持メンテナンスが行いやすい。大きい木には大きい石がベター。

### [植栽]

#### 3種類のテープ系水草を混栽

テープ系水草を背景に植栽する場合、葉の形状や色味に変化を付けることで自然的な混ざり合いを演出できる。有茎草の背景に比べて、メンテナンスの頻度が低く比較的景観を維持しやすい。中景の密度が高い分、背景に適度に透かすことで空間の抜けが生まれ、圧迫感を感じにくい水景になっている。

- ①クリプトコリネ・バランサエ
- ②エキノドルス・アングスチフォリア
- ③クリナム・アクアティカ ナローリーフ



### 完 成



### [メンテナンス]

#### 間引きと追肥による管理

比較的メンテナンスにかかる手数が少ない種類を多く植栽しているため、ある程度水草の生長に任せてしまっているが、植えたランナーや、広がりすぎた葉を適度に間引き、水草の群落の印象に強弱をつけることで見応えのある景観づくりにつながる。



維持していく中で開花したクリナム・アクアティカ ナローリーフの花。花の形を見るとヒガンバナ科ということにも納得。(制作から346日目に開花)



グロッソスティグマやクリプトコリネ、スイレンなど底床にいる種類が多いため、長期維持で不足してくる底床内の栄養を補填する目的で1ヶ月に一度ほどで追肥を行った。



Special Feature

# 時を 楽しむ 水景

SUIKEI  
to enjoy  
time

## 自然の時を楽しむ

私たちが感じる時には自然の時と人間の時、2つあるのだろう。土から顔を出したフキノトウに春の訪れを、鳴くヒグラシに近づく夕暮れを知ることができるように、季節移ろいや野の草花の生長などを感じる時は前者である。いわゆる自然の中に存在するありのままの時だ。後者は、秒や分や年月日など決まったスピードで進み時計やカレンダーなどから知ることができる時だ。もともと紀元前4000年前からある日時計は自然の理から生まれた時ではあるが、以降は太陽がなくとも時がわかる水時計、さらに細かな時を知ることができる燃焼時計や砂時計、今では平面な文字盤を見るといった体様で時を知る。ついには腕時計に個々のス

ケジュールを管理され、自然の時とはかけ離れた時間を歩んでいるようだ。しかしながら、そんな中でも人間はしばしば自然の時に身をゆだねたくなる時がある。現代社会の喧騒を離れて大自然に身を置いたとき、ゆっくりと流れる時の中で改めてそれらの尊さや美しさを感じるのだろう。そういう自然の時から学び解いたものをアクアリウムという形で表現する、それもまたネイチャーアクアリウムの深淵なる魅力なのだ。自然では季節、年ごとに風景が移ろうように、ネイチャーアクアリウムでは水草が生長していくことで水景がつくれられる。有茎草をはじめとした陽生水草は盛んに生長し、適切な管理をすることで鮮やかでダイナミックな群生美を形成し、ミクロソラムやクリプトコリネなどの陰生水草は時間こそかかるが、成熟して深みを増した姿からは原生林のようなとても緩やかな時を感じることができる。ネイチャーアクアリウムだからこそ感じられる自然の時を、長く深く楽しんでみてはいかがだろうか。

## 時の経過が生む自然感 意識したいキーポイント

ネイチャーアクアリウムでは自然感を出すことが重要です。それは、流木や石の配置による表現テクニック以上に、時間の経過とともに水草が生長することにより醸し出されるものです。水草の健康的な生長を維持するためには日々のメンテナンスが鍵になってきます。ここでは一つの水景を例に、自然感を覚えるシーンやポイントを紹介します。

### 植栽



#### 植栽や生長を考慮した構図

必要以上に大きな構図素材は避け、植栽範囲とその後の水草の生長を考慮した構図を組むことが大切。ここでは背景草の生長エリアを十分に確保しつつ、前方はガレ場と化粧砂で空間を設けることでボルビティスの生長に十分対応でき、魚の遊泳空間にもなっている。



### 有茎草の群生美

有茎草はトリミングを繰り返しながら密度を上げていく。有茎草ごとの生長スピードをよく観察しながら、それぞれトリミングラインの高さも変えて見頃を合わせたい。トリミング後は「グリーンゲイン」の添加を忘れないように。このレイアウトでは化び草を用いることで、早い段階からの高密度を実現した。



### 完 成



#### 長じえのモスに



こまめなトリミングで細やかでこんもりと苔むした原生林のようなイメージに。水中感を強めたいときには、長く飛び出したウィローモスを間引くようにカットする。高密度になると汚泥が溜まりやすく藻類発生の原因になることが多いため、定期的に吸い出しが重要。



#### 陰生シダは清らかに

ボルビティス・ヒュデロッティからは静かな時が感じられる。葉の密度が高すぎると光量不足や株元の淀みが生じやすく、生長が遅くなったり古葉が増えたりする。枯葉や色の濃い古葉は積極的に除去して、きれいな葉の展開を促したい。



レイアウト制作:井上 大輔／水槽サイズ:W120×D50×H50(cm) ©AQUA DESIGN AMANO

### DATA

水 草	グリーンロターラ(化び草)* セイロンロターラ(化び草)* ロターラ・インジカ(化び草)* ロターラsp./バングラデシュ(BIO)* ミリオフィラム・マトグラッセンセ(BIO)* ニードルリーフルドワジア(化び草)* ペトナムゴマノハグサ(BIO)* ボルビティス・ヒュデロッティ ウィローモス(モスバグ)*
-----	---

魚 種	ブルートラ レッドテールエローファントム チエッカーボードジクリッド ドワーフグラミー サイアミーズフライングフォックス オトシンクルス ヤマトヌマエビ
-----	--

\*はADA生体製品ラインナップです。

## 生命のリズム 時間経過で 魅力を増す水草たち

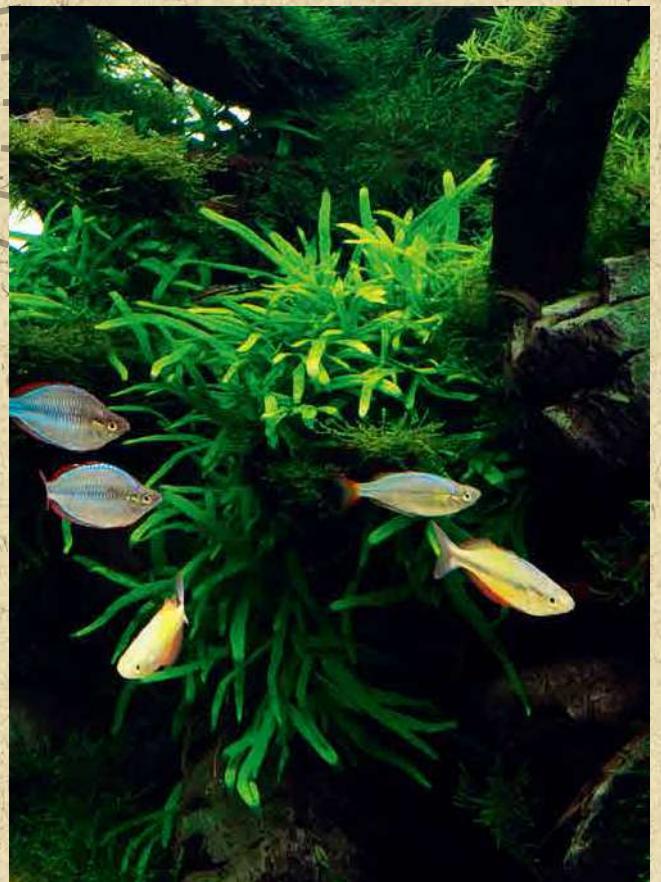
水草たちが健康に生長しながら長期にわたって美しい草姿を楽しむことができる原因是ネイチャーアクアリウムの醍醐味の一つと言えます。その様子から私たちは時の移ろいや植物に内包する緩やかな生命のリズムを感じることができます。今回は時間の経過とともに草姿を変化させて趣ある水景を楽しむのに適した水草を5種類ご紹介します。

### 01 涼しげで穏やかな 時の流れを演出する

Plants : JUNGLE PLANTS

ミクロソラム・トライアント  
*Microsorum sp. 'Trident'*

葉が三叉に細長く分岐するため、生長するにつれ密感のある印象を作りやすい。シダ植物特有のゆったりとした生長スピードが時間経過を感じさせるとともに、細葉が水槽内の水流によってたなびく様子は新緑のような爽やかな印象を感じさせてくれる。また、写真のように流木の渦みに活着させることで自然感が生まれ、湿潤で深い森の中でひとつりと息づく植物の営みをイメージすることができる。



### 02

生命力あふれる  
濃緑の葉が趣ある  
印象を与える

Plants : BIO MIZUKUSA NO MORI

アヌビアス・ナナブチ  
*Anubias barteri var.nana 'Petite'*

濃緑の丸みを帯びた葉を展開する小型アヌビアス。ゆっくり生長するため長い間美しい草姿を見させてくれる。陰生水草のため流木の際や陰となる部分に活着させて楽しむことで、森の奥深さを連想させるようなレイアウトを楽しむことができる。葉が小さいため、枝ぶりが細いプランチウッドを若木に見立てて、そこから新芽が展開している姿を表現しても面白い。



### 03

### 03

シャープな赤葉が  
水景の程良いアクセントに

Plants : BIO MIZUKUSA NO MORI

アラグアイア・  
レッドシャープリーフ・ハイグロ  
*Hygrophila sp. 'Araguaya Sharp Leaf'*

赤紫色の硬質な細葉を展開するハイグロフライ。他種に比べて生長は緩やかで底床を這うように広がる特長があるため、長期維持を前提としたレイアウトづくりに用いたい水草である。流木の周りに植栽して、木々の根を取り囲む林床植物のようなイメージの繁みをつくりたり、前景と背景の段差を緩和するためにポイント的に使い水景に程よい赤のアクセントをつけたりすることで本種の良さが活かされる。



### 04

### 深山の 鬱蒼とした雰囲気を 想わせる

Plants : BIO MIZUKUSA NO MORI

ウェーピングモス  
*Callicostella prabktiana*

本種は生長するにしたがいボリューム感が出てくる。また、垂れ下がるように生長する特長があり、他種とは一味違う趣を表現するのに適している。石や流木に活着させることで、まるでツリ植物が長い年月をかけて古木などの表面をゆっくりと飲み込んでいくような生命力あふれる野生的な印象を与えることができる。重なり合うように生長するため、こまめなトリミングが見ごろを維持するポイントとなる。



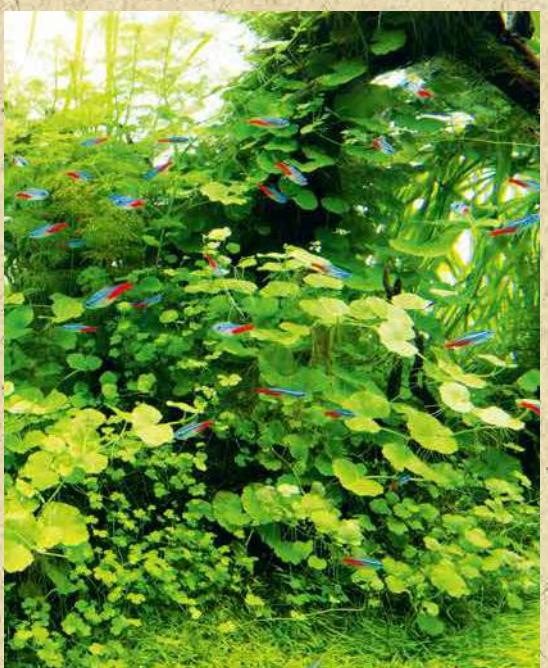
### 05

匍匐する様が  
植物の力強さを感じさせる

Plants : BIO MIZUKUSA NO MORI

オーストラリアン・  
ドワーフヒドロコティレ  
*Hydrocotyle tripartita*

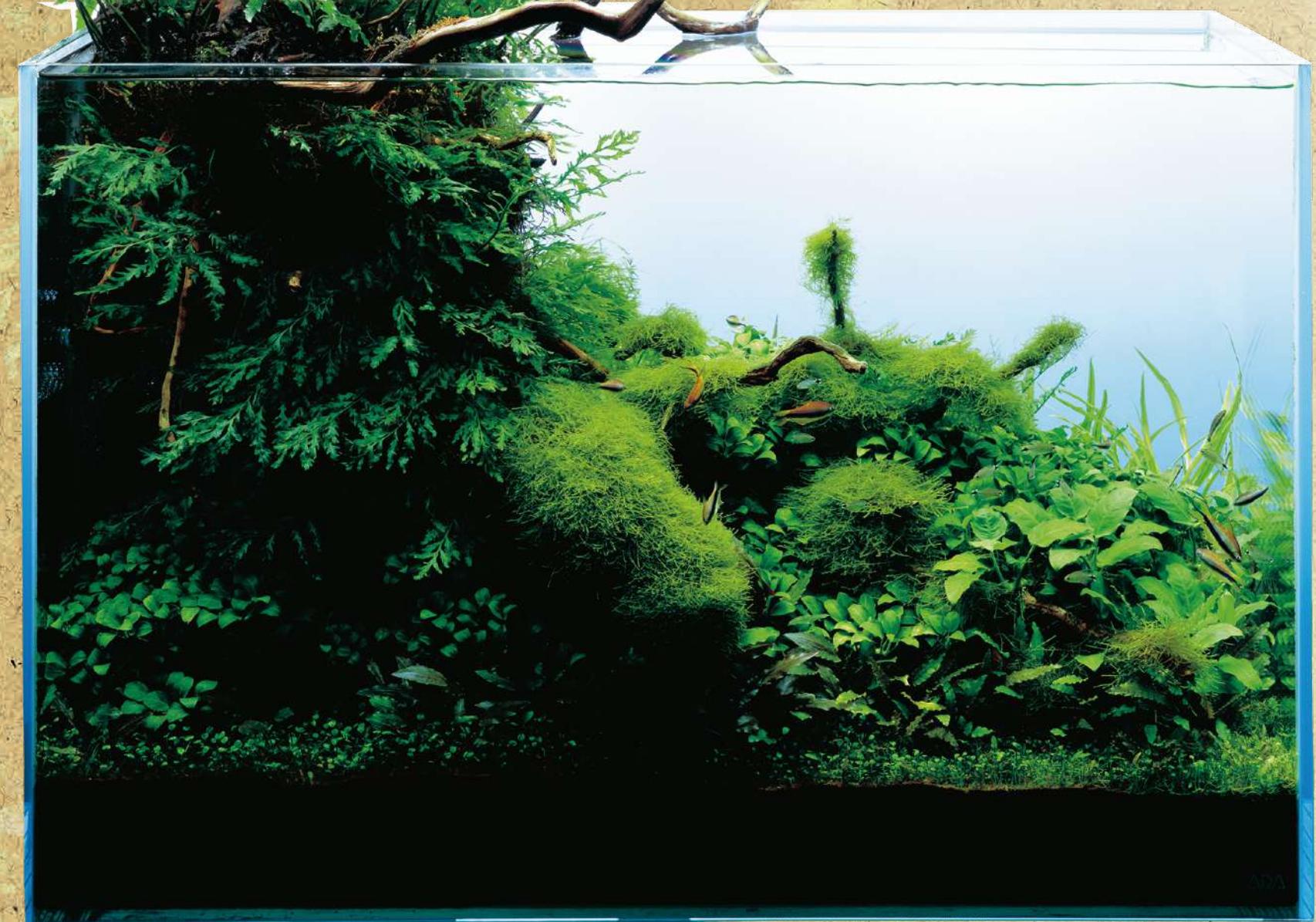
クローバー状の小さな葉を展開して匍匐するようにランナーを伸ばしながら徐々に生育範囲を広げる。その姿は植物の生命力と繊細さ、そして自然界のゆったりとした時の流れを感じさせてくれる。石や流木などの隙間に植栽して、レイアウト素材の無機質な質感を和らげ自然感を演出するのに適している。生長はやや早いため、小まめなトリミングが長く見ごろを楽しむコツ。



# 「時」への探求心

## 長期維持はかけがえない 自然表現に通ずる

Text  
Kota Iwahori



レイアウト制作／撮影：天野 尚（2014年撮影）  
水槽サイズ：W90×D45×H60(cm)

植物：

ボルビティス・ヒュデロッティ  
ヌビアス・ナナ・“ブチ”  
クリプトコリネ・アルビダ  
クリプトコリネ・ベッチャ  
クリプトコリネ・ウエンティ（グリーン）  
ヨーロピアン・クローバー  
ウイローモス

©AQUA DESIGN AMANO

それは私の入社1年目、およそ11年前に遡る。ネイチャーアクアリウム・ギャラリーに長く維持されていたとても印象的な水景があった。熱帯樹木が水中へ根を下ろすように組まれたプランチウッド。そこに絡みつき水上へ飛び出しているシダの力強さに感動した。堂々たる佇まいを見るだけでとても長い期間維持されていたのだとわかった。ボルビティス・ヒュデロッティは根茎が太く充実しないと水上展開が難しいのだ。長期維持といつてもネイ

チャーアクアリウム・ギャラリーでは珍しいことはなかったが、そのほとんどが幅180~350cmの大型水槽だったように記憶している。ボルビティスの水景は幅90cmの水槽であり、水面下に視線を下ろせば半透明な水中葉が酸素の気泡を纏いながら揺らめいた。ボルビティスの陰から這い出るようにヌビアスは群落を形成し、それに応じて周囲に広がるクリプトコリネからはしたかさを感じた。陰生水草のレイアウトではあったが、ここではクリプトコリネが有茎草にも負けない鮮やかな存在を見えた。ボルビティスを間引けば、ヌビアスが勢いづく。それを間引けばクリプトコリネが大きく生長する。少しおかしな言い方かもしれないが、一つの生き物のようにゆっくり脈動しているというか呼吸しているというか、水景が移ろいさまざまな見頃があり、ますます興味をひかれた。制作から9ヶ月後と4年後に2度撮影されたこの水景は、リセットされることなく維持され続けた。さらに天野はこの水景からどんな見頃を待ち望んでいるのか、と当時の私は思っていた。それからも何度も見頃を迎えたボルビティスの水景だが、制作からおよそ6年、3度目の撮影はすることなく、新たなレイアウト制作のためにその水景はリセットされた。結局、天野がボルビティスの水景を求めたゴールはわからないままだった。しかし今になって思えば、終わりなく悠々と移ろい続ける自然を眺めるように、90cmのネイチャーアクアリウムをただ純粋に楽しんでいたかもしれません。ネイチャーアクアリウムは私たちの生活に自然の時を溶け込ませる不思議で美しいホビーである。私は、時とともに移ろう美しい自然のよう、あのボルビティスの水景のような一本を求めてづける探求者でありたいと思っている。



#22



壁面では立体感を出しつつ水が流れているかのようなイメージで配植する。水の流れのイメージが水中まで続いているとレイアウトに一体感が生まれる。



### 水の流れや着生が楽しい「バーチカルスタイル」

このレイアウトでは、壁面に構図素材をあまり重ねずに植物を着させたofi草マットを露出させています。シンプルなスタイルですが、岩清水のような雰囲気を漂わせたり垂直壁面で着生植物を広々と育成できたりと、システムテラ30の特長やコンセプトを

端的に活かした楽しみ方です。こういったスタイルの制作ポイントは2つあります。一つは、構図素材や配植で水の流れを擬似的に表現することです。もう一つは、壁面の植物で立体感をつくり出すことです。大きさだけではなく、色味も考えて配植しましょう。

#### DATA

- システムテラ30
- トロピカルリバーソイル
- 雲山石
- ユキノシタ
- ショートヘアーグラス
- ホマロメナ・ミニリスレッド
- アヌビアス・ナナ ブチ
- タマシダ
- ボルビティス・カスピータ
- ofi草マット ピーコックモスなど



流木と壁面がつながるようにセロジネ・フィンブリアータを植栽。こうすることで構図素材と壁面を一体化させている。



水面を境に世界観が途切れないように、ここではアヌビアス・ナナ ブチを水上に展開させている。



### 野生味を存分に楽しむ「ワイルドテラスタイル」

水槽の枠にとらわれない迫力ある構図組みは、前面と天面がオープンになっているシステムテラ30ならではでしょう。壁面だけでなく立体的に組んだ構図素材にも着生植物を植栽することで、見ごたえあるレイアウトとなります。流木に巻いたり、壁面

に立てかけた流木からカスケードに掛けたり、テラテープを効果的に用いたりすることで枝の部分に保水することがポイントです。また、壁面の植栽エリアが狭くなりすぎないように注意し、壁面にも植栽することで厚みのあるレイアウトになります。

#### DATA

- システムテラ30
- トロピカルリバーソイル
- ホーンウッド
- フィカス・ブミラクエルシフォリア
- セロジネ・フィンブリアータ
- アヌビアス・ナナ ブチ
- ofi草マット クリスマスマスなど

# IAPLC CREATOR'S FILE #02

Yi Ye



PROFILE

叶毅

Yi Ye

年齢 / 41才

国名 / 中国

職業 / 公務員

アクアリウム歴 / 10年

趣味 / スポーツ、バドミントン

過去の受賞歴 /

IAPLC2014 46位

IAPLC2015 5位

IAPLC2016 12位

IAPLC2017 41位

IAPLC2020 25位

IAPLC2022 8位

世界的な水草レイアウトコンテスト「IAPLC」。IAPLCクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。

IAPLC information

IAPLC 2023

4月1日より応募開始



IAPLC  
website

**自然や生活からインスピレーションを受け  
自分の表現に挑戦できるのが  
水草レイアウトの魅力**

Q 水草レイアウトを始めたきっかけは何ですか？

2012年に結婚生活が始まったころ、妻が小魚を飼育することを勧めてくれました。これを機に、小さな丸い水槽と緑の水草、そしてグッピーを数匹購入しました。少しずつ水草レイアウトづくりに触れ、天野 尚先生のネイチャーアクアリウムを知り、そしてIAPLCという魅力的な世界の扉を開きました。

Q レイアウトのテーマやモチーフ、アイデアはどこから得ますか？

この『順流と逆流』という作品は、運に恵まれなかつた昨年の気分の浮き沈みを表現しました。人生は根のように自然に任せて成長するのか、それとも魚のように流れに逆らつて泳ぐのか。親友とその答えを探り、彼は絵筆で、私は水草レイアウトで思いついた答えを描きました。自分の気持ちを表現した作品

をつくることができてよかったです。

Q レイアウトをする上でこだわりのグッズはありますか？

水景づくりでよく使う製品は、ADAの液体栄養素です。水草を最高の状態に表現できるので、愛用しています。



左から、グリーンブライティ・シリーズのニュートラルK、ニトロ、ミネラル。



友人と一緒にレイアウトの構想を練った。



制作中の構図。



バランスを見ながら素材の量と位置を調整していく。



**順流と逆流** Aquarium Size W120×D50×H50(cm)

水 草: パールグラス／ロターラ・ロトンジフォリア／グリーン・ロターラ／

ボルビティス・ヒュドロツティ／アマゾンチドメグサ／プレミアムモス／  
ウイーピングモス／ラヌンクルス・パブレントゥス／エキノドルス・テネルス  
魚 種: ブラックネオンテトラ／ラミーノーズテトラ

Q 水草レイアウトのどのようなところに魅力を感じますか？

水草レイアウトの魅力は、絵画のスケッチのように自然界や映画、生活からインスピレーションを受け、水槽をキャンバスに素材や水草、魚などで自分の思いを描けるところです。



チャレンジ精神と細部へのこだわりを持って、技術的な作品をつくり上げた。

Q 水草や魚種を選定する上のポイントについて教えてください。

水草と魚の群れは水草レイアウトづくりに欠かせない要素です。水草の組み合わせで異なる雰囲気の作品ができますが、今回はブラックネオンテトラを泳がせました。また、毎年作品をたくさん撮影することで、水槽の中で魚の群れの理想的な位置を探っています。

Q IAPLCに応募するきっかけ、または醍醐味はどんなところにあると思いますか？

IAPLCに参加したきっかけは、水草レイアウトに興味を持ち、上達を望んでいたので、水草レイアウト殿堂級のコンテストで自分のレベルを試そうと思ったことです。より強く、より完璧な作品を目指し、毎年IAPLCに参加することで、心の奥の思いや、つくりたい水景の世界を自分なりの方法で表現でき、とても楽しいです。

Q アクアリウムクラブに所属している場合は、活動内容をお聞かせください。

私はCAAという中国のアクアリウムクラブのメンバーです。コロナがなかったころは、私たちはよく集まって各地の大規模な観察会、インスピレーションを求めていました。最近は雲南省の個旧市にある熱帯雨林に行ってきました。

Q 世界中の水草愛好家の皆さんにメッセージをお願いします。

コロナが流行した3年間、本当に大変でした。この長く出口の見えなかつた時期に別れを告げ、新たな気持ちをもって2023年を迎えましょう。そして今年もまた、皆さんと一緒にIAPLCに参加し、もっと素敵なお水草レイアウトがつくれるように頑張りましょう！



多様な生体製品を開発している  
ADAの生産開発部(通称「グリーンラボ」)。  
このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や  
時折見せてくれる素顔の一部をご紹介します。

### オールラウンダーな有茎草

ハイグロフィラ・ポリスペルマは水中育成が容易な上、メンテナンスしだいで理想の姿に整えやすい水草です。植栽直後から節間が間延びしやすく生長が早いためすぐに水面に到達しますが、こまめにトリミングを繰り返すことで節間が詰まり葉も小型化、生長スピードも緩和でき、中景草としての選択肢や幅60cm以下の水槽でのレイアウトにも十分適しています。逆に水深のある大型水槽でも育成可能なため、ADAの超大型水槽でも比較的の使用頻度の高い水草です。



管理によって野趣あふれるダイナミックシーンからコンパクトな姿まで、まさに「腕しやすい水草」である。

### わかりやすい葉色の変化

ハイグロフィラ・ポリスペルマは同一個体でも、育成環境により葉の色をよく変化させます。要因の一つとして照明の明るさがあげられます。一般に知られている葉姿はライトグリーンですが、強光下では褐色へ向かって変色します。理想的な色へ近づけたい場合は、他の水草の生長に差し支えない程度に調光すると良いでしょう。また、過度に側芽が多いときや栄養素が不足している場合は白化しやすくなります。その場合は、液体栄養素や「ボトムプラス」などで対処しましょう。



葉色が変色しやすく育成環境の指標になるため、ビギナーにもおすすめな水草。

薄いアメジストのような色の可憐な花は一見の価値あり。



### 固く締まった水上葉で

水上でのハイグロフィラ・ポリスペルマは水中ほどどの生長スピードではなく、垂直に生長して15cm程度でとどまることが多いです。しだいに匍匐茎、そこから側芽を形成します。花は紫色の小さな花が咲くので、バルダリウム、オープンアカリウムの水上展開まで幅広く楽しめるでしょう。環境適応範囲が比較的広く、トリミング後の節や葉の切片からでも容易に発芽発根しますので、野外への流出は避けましょう。



### 個性的なタイプも

分布が南アジア～東南アジアにかけ広いため、その変異も大きいでしょう。現在、ハイグロフィラ・ポリスペルマの変異として複数タイプが流通しています。代表的なものとして知られるタイガーハイグロは匍匐性が強く黄土色(虎斑がある)の葉が特徴です。ハイグロフィラ・ゴールドブラウンは直上に生長しやすくシャープな水中葉を展開させます。名前からシャンパンのような香味を想像してしまいますが、鮮やかな赤褐色で背景を彩ります。ハイグロフィラ・ロザエネルビスはポピュラーなポリスペルマの斑入りタイプです。

一つの水槽で数タイプ用いて面白い。特に東南アジアのレイアウトではテーマ性が強調される。ここでは、タイガーハイグロとゴールドブラウンを植栽。

## ADA PLANTS GALLERY *Hygrophila polysperma*

ハイグロフィラ・ポリスペルマ

Text\_Kota Iwahori

多様な生体製品を開発している  
ADAの生産開発部、通称“グリーンラボ”。  
このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や  
時折見せてくれる素顔の一部をご紹介します。



### オールラウンダーな有茎草

ハイグロフィラ・ポリスペルマは水中育成が容易な上、メンテナンスしだいで理想の姿に整えやすい水草です。植栽直後から節間が間びしやすく生長が早いためすぐに水面に到達しますが、こまめにトリミングを繰り返すことで節間が詰まり葉も小型化、生長スピードも緩和でき、中景草としての選択肢や幅60cm以下の水槽でのレイアウトにも十分適しています。逆に水深のある大型水槽でも育成可能なため、ADAの超大型水槽でも比較的の使用頻度の高い水草です。



管理によって野趣あふれるダイナミックシーンからコンパクトな姿まで、まさに“腕しだいの水草”である。

### わかりやすい葉色の変化

ハイグロフィラ・ポリスペルマは同一個体でも、育成環境により葉の色をよく変化させます。要因の一つとして照明の明るさがあげられます。一般に知られている葉姿はライトグリーンですが、強光下では褐色へ向かって変色します。理想的な色へ近づけたい場合は、他の水草の生長に差し支えない程度に調光すると良いでしょう。また、過度に側芽が多いときや栄養素が不足している場合は白化しやすくなります。その場合は、液体栄養素や「ボトムプラス」などで対処しましょう。



葉色が変色しやすく育成環境の指標になるため、ビギナーにもおすすめな水草。

### 個性的なタイプも

分布が南アジア～東南アジアにかけ広いため、その変異も大きいでしょう。現在、ハイグロフィラ・ポリスペルマの変異として複数タイプが流通しています。代表的なものとして知られるタイガーハイグロは匍匐性が強く黄土色(虎斑が入る)の葉が特徴です。ハイグロフィラ・ゴールドブラウンは直上に生長しやすくシャープな水中葉を展開させます。名前からシャンパンのような色味を想像してしまいますが、鮮やかな赤褐色で背景を彩ります。ハイグロフィラ・ロザエネルビスはポピュラーなポリスペルマの斑入りタイプです。



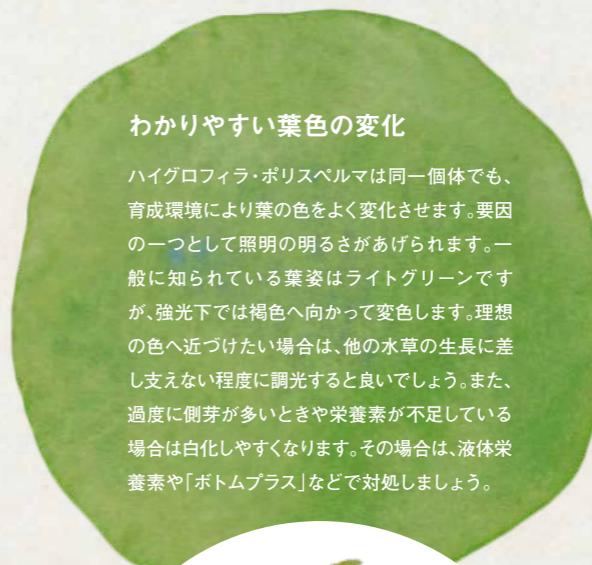
一つの水槽で数タイプ用いても面白い。特に東南アジアのレイアウトではテーマ性が強調される。ここでは、タイガーハイグロとゴールドブラウンを植栽。

薄いアメジストのような色の可憐な花は一見の価値あり。

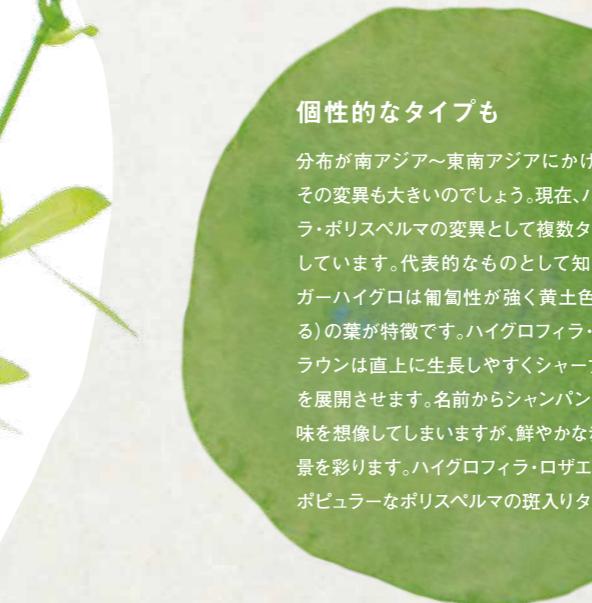


### 固く締まった水上葉で

水上でのハイグロフィラ・ポリスペルマは水中ほど生長スピードではなく、垂直に生長して15cm程度でとどまることが多いよう、しだいに匍匐茎、そこから側芽を形成します。花は紫色の小さな花が咲くので、パルダリウム、オープンアクアリウムの水上展開まで幅広く楽しめるでしょう。環境適応範囲が比較的広く、トリミング後の節や葉の切片からでも容易に発芽発根しますので、野外への流出は避けましょう。



葉色が変色しやすく育成環境の指標になるため、ビギナーにもおすすめな水草。



**Shibata's monthly report**

# システムでタノシム

—システムパルダ編—

## 第8回 「適応を楽しむ」

手軽にレイアウトと植物の育成が楽しめるDOOAのシステム水槽。その日常管理をNAC部屈指のメンテナンス技術者 柴田が実践を交えながらご紹介。今日も管理やってます！

**Point 01 順化のための湿度維持**

ミストフローの作動時間をワーコードS-70で管理。初期は高湿度を維持して植物を環境に慣れさせます。

ミストフロー

**Point 02 根張りの見極めは新芽の展開で**

新芽の展開が見られたら、根張りが進んでいる合図です。根が張れば今後の安定した生長が期待できます。

無事に新芽を展開したマコデス・サンティアーナ。

**Point 03 環境に合った葉の変化を比較**

植栽直後と現在の葉の変化を写真で比較すると、順化が進み葉が入れ替わっていることがわかります。

ソネリラ・ドンナメンシス。葉の表面の毛の量はっきりと違いが見られる。

**制作当初**

**4週間後**

**DATA (制作から4週間)**  
ミストフロー:3時間作動→30分停止の繰り返し  
サーフィュレーションファン 40:常時停止  
ボックスへの給水:3日に1回2ℓ

**SHIBAの視点**

根元の乾湿の差ができるやすい流木の先にランを植栽。

**Love ADA GOODS**

ラブ・ADA・グッズ

#08

## BOTTOM RELEASE

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。

**魅惑の機能美形体**

ネイチャーアクアリウムには長期維持という大切な考え方があります。時間が経過し生長した水草たちが魅せる美しい水景は、いつも私たちを感動させてくれます。しかし水草たちを支える底床は長く使用していると消耗し、水草を育成するための十分な栄養素の供給が難しくなってしまいます。ボトムリリーズはこの問題を解決するための専用ツールです。トリミングを繰り返して高密度となった水草や密生するテープ状水草の根本などへのアプローチを実現するために細身で長い形体となっています。スリムさは機能美としても体現されていますが、この見た目のレンダーナンバーがなんとも魅力的なツールです。完全専用開発・生産品であるボトムプラスが使用でき、窒素や鉄といった長期維持で減少しがちな栄養素の補給が可能となります。さり気なくハンドル部に刻印されたロゴマークもおしゃれなワンポイントです。水草のための専用ツールとしてそのコンセプトを体現する見た目も機能もすべて魅力的なボトムリリーズが好きです。

Text:Ryuji Ogawa

# ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

季節ごとのコラムを発信していきます。



コ ナラの芽の部分にできるウロコ模様をした玉状の虫こぶなのでナラメウロコタマフシなどと呼ばれるものです。いわゆる虫こぶと総称され植物が虫やウイルス、菌類などによって浸食を受けたような箇所に形成される独特な外観の組織です。冬によく見つけられるのはこのような芽の周辺につくられているものになりますが、暖かい季節には葉や茎花などコナラに限らずさまざまな樹木や足元の草花でも観察ができます。形や大きさの違いもあり色も多様で、赤くないものや紫色に染まるものについては天然染料として利用されている種類もあります。植物がストレスに応答してタンニンなどの色素合成を進める仕組みから得られる自然の恵みでもあります。植物がストレ

写真のコブはタマバチの一種が寄生して生活しているものと言われています。実際に割ってみるととろとろした粘液やふかふかのスポンジ状であります。実際に割つてみるととろとろあつたり、中身はパリエーションに富んでいます。幼虫が過ごすためのみでいいがでしょうか。

## 「フシ呪文入門講座」

第 25 回

文・写真／小川 龍司

### INFORMATION

Aqua Design  
Amano  
Laboratory

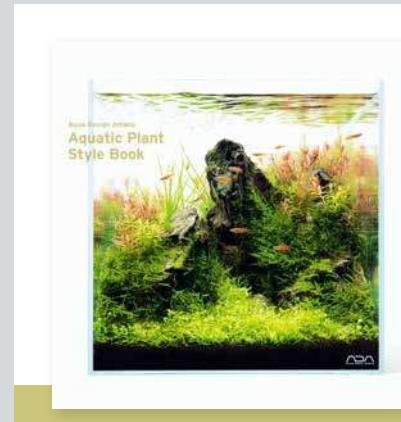


「ADA LAB GINZA」  
常設化決定!



昨年4月からポップアップストアとして展開してきた「ADA LAB GINZA」は、たくさんの皆様にご好評をいただき、この度、常設化が決定いたしました。ご来店いただきました皆様には、深く感謝申し上げます。これから「ADA LAB GINZA」の展開にご期待ください。

■特設サイト：<https://ada-laboratory.com/>  
■Instagram：[https://www.instagram.com/ada\\_laboratory/](https://www.instagram.com/ada_laboratory/)



Aqua Design Amano  
**Aquatic Plant Style Book**

水草のさまざまな楽しみ方を紹介した作例集『Aquatic Plant Style Book』が、好評配布中です。手軽なガラスポットでの水上葉栽培から本格的なネイチャーアクアリウムまで、水草を用いた作例を幅広く掲載。水草に興味のある方なら、ビギナーの方からベテランの方まで楽しめる内容となっています。

○全60ページ（表紙含む）○サイズ：W182×D5×H182（mm）



販売特約店によって配布状況が異なります。※ADA LAB GINZAでは配布を行なっておりません。

札幌の新水族館「AOAO SAPPORO」に  
「ネイチャーアクアリウム」の展示導入が決定

2023年夏を目指して北海道札幌市に開設準備を進めている都市型水族館「AOAO SAPPORO」において、主要な展示の一つとして「ネイチャーアクアリウム」の導入が決定しました。ADAが水族館に制作する水景としては世界で3箇所目の常設展示となります。



詳しくはAOAO SAPPORO  
公式サイトなどでご確認ください。  
○公式ティザーサイト：<https://aoao-sapporo.blue>  
○公式Instagramアカウント：[@aoao\\_sapporo](https://www.instagram.com/aoao_sapporo)

### STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.  
©2022 Printed in JAPAN

### Publisher

天野 しほ

NATURE AD DESIGN

丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢

Design

Editor 杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司／沓澤 亮介／知念 政次朗

總監修・大岩 剛／写真監修・阿部 正敏

### Published by

株式会社 アクアデザインアマノ  
<https://www.adana.co.jp>

### Printed by

株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

April 2023 vol.330 / 2023年3月10日(金)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。



DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

# MAGNET LIGHT STAND MARU

## マグネットライトスタンド MARU

ガラスポットMARU95／130に対するスチール製専用スタンドが新登場。

本体白バックによる背景処理効果により、ガラスポット内につくった景観が引き立って見えます。

- ①マグネットライトスタンド MARU 95:W11×D12.5×H22(cm) 価格 ¥6,930(税込)
- ②マグネットライトスタンド MARU 130:W14.5×D15×H27.5(cm) 価格 ¥7,150(税込)

※画像は設置例です。照明器具、ガラスポット、生体製品は別売です。

<https://dooa.jp/jp/>

